

森・盛・オホーツク

林野庁 北海道森林管理局
常呂川森林ふれあい推進センター

熱心な子どもたち＝「ボランティア育樹」＝

6月15日(木)、第14回「オホーツクの森」ボランティア育樹が行われました。

これは、常呂漁業協同組合や北見市など、9つのボランティア団体と関係機関で構成されている実行委員会(実行委員長・中島紀男)が主催したもので、端野小学校・常呂小学校の5年生の参加を得て、総勢155名でアカエゾマツ人工林の枝払いを行いました。



▽枝払いの様子

参加した児童のほとんどが鋸を使うのが初めてで、北林会やオホーツクの会などのボランティア団体の指導を受けながら、最初は慎重に・・・徐々に慣れ、終了時間が近づいても「もっと切りたい。」と意欲的でした。



森林散策の様子

また、午後からは森林散策等を実施しましたが、開始直後に降雨となり、予定を早めての終了となりました。

後日、両校の児童から感想文が届き「なぜ、枝落としを行うか、勉強になりました。」や「鋸の使い方や枝の切り方がわかりました。」などの声が寄せられました。



▽倒木更新

森林散策を支援 = ノノの森 =

6 月 24 日（土）、津別町上里のノノの森で、オホーツク森の案内友が主催する森林散策が開催され、当センターから 2 名が参加し活動を支援しました。

当日、出発地の北見は雨模様で開催が心配されましたが、ノノの森は曇りで「清流の道」を約 2 時間かけて散策しました。

散策コースには、倒木更新や凍裂したトドマツなどが見られるとともに、足元にはエゾノレイジンソウなどの花やいろいろな植物があり、参加者は当センター職員の解説に熱心に聞き入っていました。

午後からは、クリンソウが群生する「こもれびの道」の散策が行われ、14 時にはノノの森を後にしました。

オホーツクの森にドローン = 地域林政連絡会議 =

6 月 28 ～ 29 日、「オホーツク地域林政連絡会議」が開催されました。

この会議は、オホーツク地域の民有林・道有林・国有林が連携し、地域の活力ある森林づくりに貢献するため、オホーツク総合振興局林務課・東部森林室・西部森林室と国有林が参加し、具体的な取組みを検討するものです。

28 日は、平成 29 年度から 3 年間、関係機関が連携して取組む「アクションプログラム」を決定するとともに、各機関から今年度の取組みなどが報告されました。

翌 29 日の現地検討会では、当センターから「オホーツクの森」の概要の説明の後、ドローンの取扱いの説明や模範操作が行われ、有意義な二日間となりました。



▽ドローン操作の様子

常呂川森林ふれあい推進センター

http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/tokorogawa_fc/index.html

〒090-8588 北海道北見市北斗町 3 丁目 11 の 3

【TEL】0157-23-2960 【FAX】0157-26-2144

